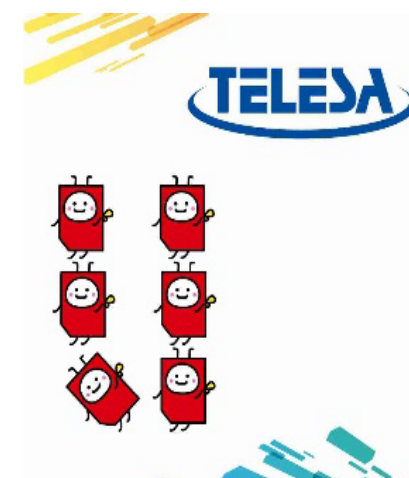


モバイルスタックテスト 事業者ヒアリング資料

2025年11月28日

一般社団法人テレコムサービス協会
MVNO委員会

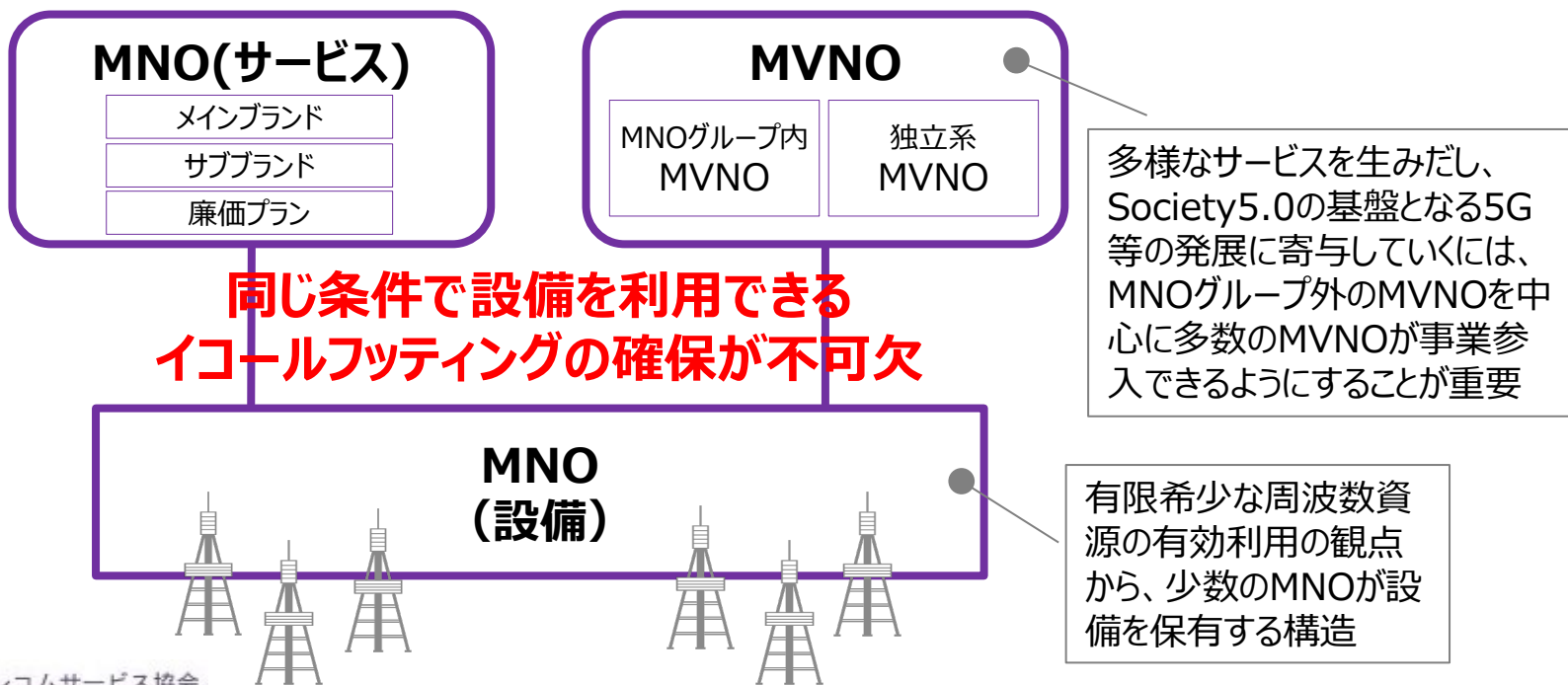


しむし

© 00 MVNO委員会

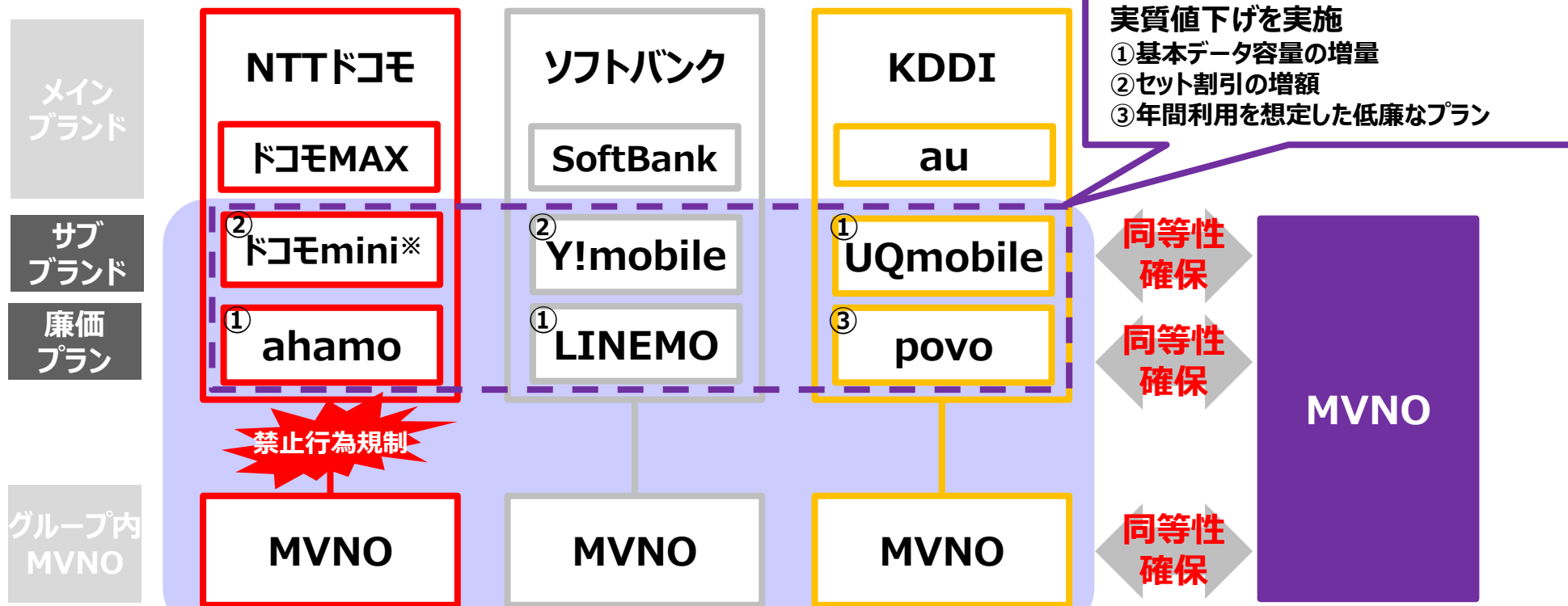
望まれる競争環境

- **MVNOは、従来のMNOによる寡占市場に楔を打ち込むとともに、移动通信市場の競争を活性化させることで、消費者の選択肢の多様化や利便性の向上に寄与してきた**
- 今後も、移动通信市場において多様なサービスが生まだされ、**Society5.0の基盤となる5GやBeyond5Gの発展**のためには、有限希少な周波数資源の有効利用の観点から、少数のMNOが設備を保有する構造が避けられない中、多数のMVNOが事業参入できるように、**「設備を保有するMNO」と「保有しないMVNO」が同じ条件で設備を利用することができるイコルフットイングの確保が必要不可欠**である
- また、MNOグループによる寡占を防ぐため、MNO本体のみならず**MNOグループ内MVNOと、独立系MVNO間のイコルフットイングも極めて重要**



至近のモバイル市場の競争状況

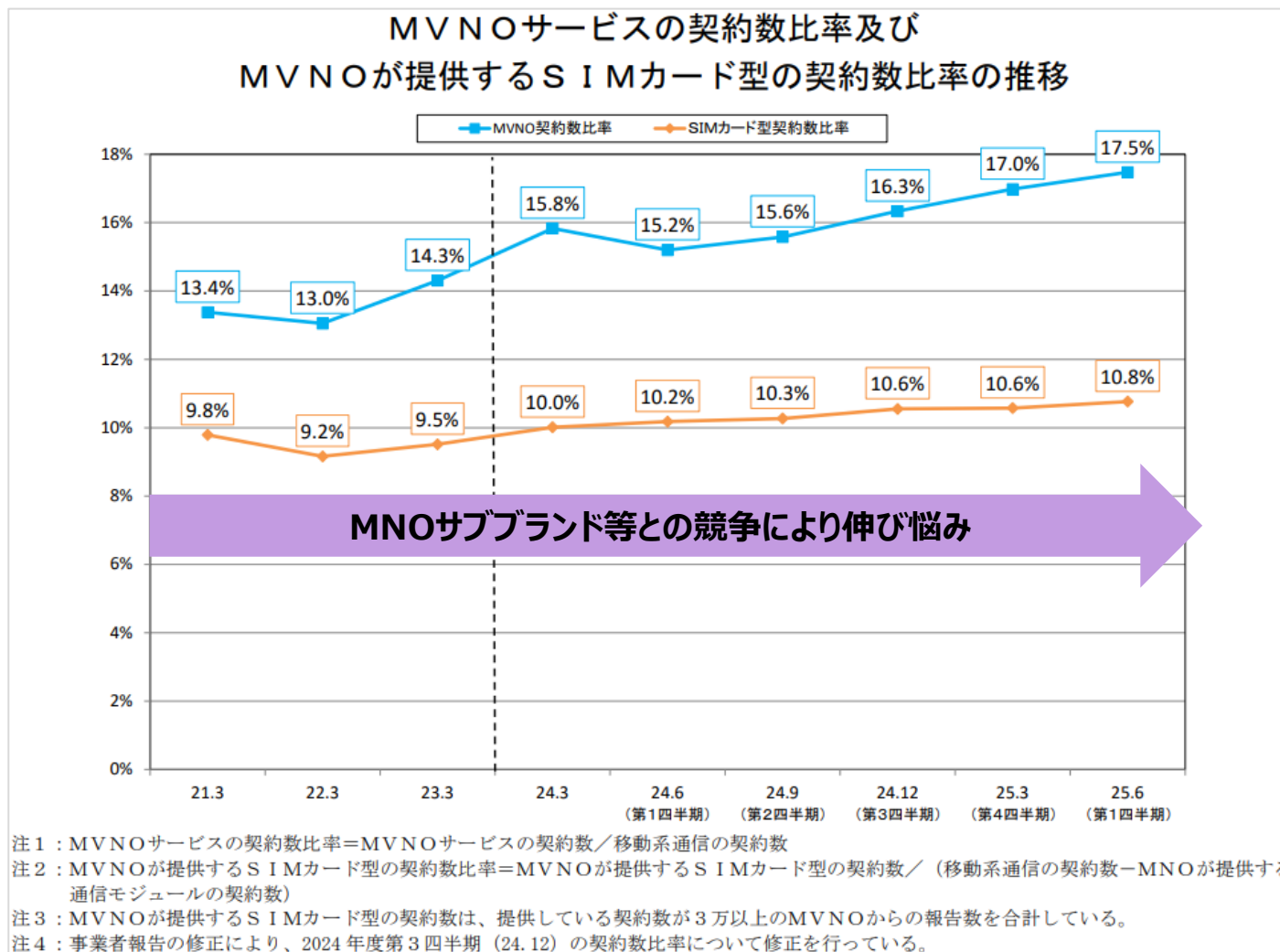
- 別会社であったサブブランドやグループ内MVNOを、MNO本体に吸収する動きが見られ、またMNO本体がMVNOと競合する低廉な新プランを投入するなど、市場競争はさらに熾烈に
- 至近では、MNO各社がサブブランドや廉価プランの一部において、データ容量の増量等の実質値下げを実施
- サブブランドでは、光回線やホームルーターとのセット契約、特定のクレジットカード払い等にすることで、月額料金の割引を実施、一部においては、割引額を増額
- サブブランド・廉価プランとMVNOの料金水準が接近・混在する状況



※「ドコモmini」については、プラン内容や価格等から、サブブランド相当と定義

MVNOの契約比率の推移

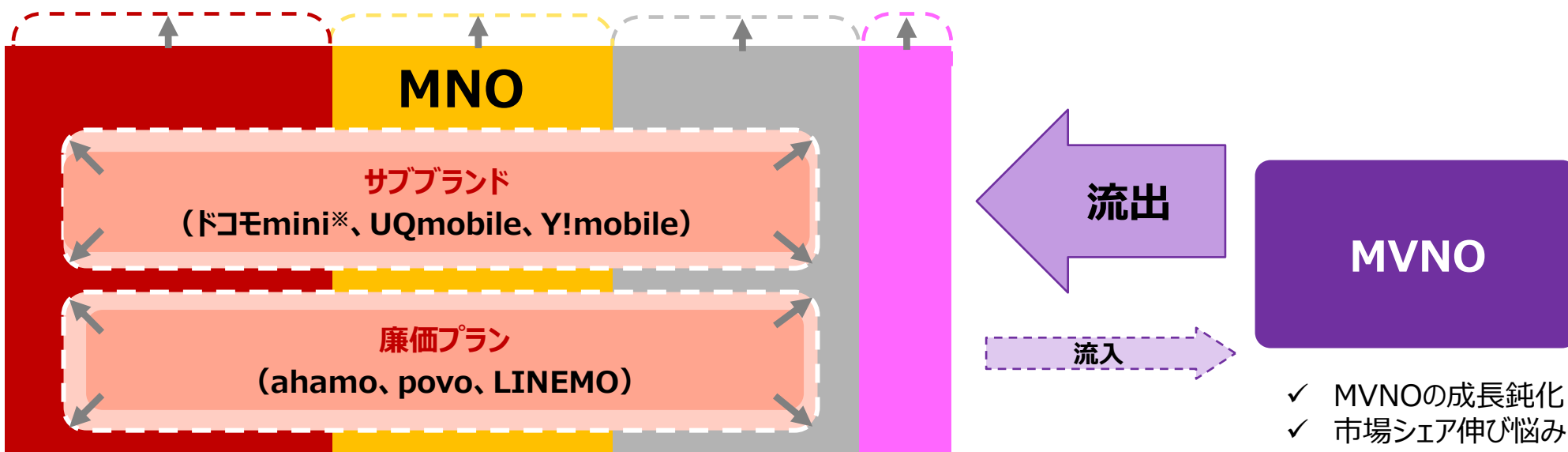
- 至近は、MNOのサブブランドや廉価プラン等の影響によりMVNO（SIMカード型）のシェアは伸び悩み



スタックテスト対象プランに対する当委員会の考え

- MNOサブブランドや廉価プランにより**MNOとMVNOの料金水準が近接し**、料金面と品質面のバランス等で優位な**サブブランド・廉価プラン等への流出が増加することで、競争環境に影響が生じている状況**
- MNOとMVNO間の公正競争の確保のためには、特にMVNOと競合関係にある**サブブランドや廉価プランについて、MVNOとの料金の近接状況や、MNO各社による至近の実質値下げに伴う利用者料金の低廉化等の状況変化を踏まえ、過去検証済みのプランも含めて、スタックテストの対象とすることを要望**

●現状の市場イメージ



※「ドコモmini」については、プラン内容や価格等から、サブブランド相当と定義

サブブランド・廉価プラン等とMVNO料金プランとの比較

- 低容量帯（3～5GB）・大容量帯（20～30GB、100GB）ともに、サブブランド・廉価プラン等とMVNOの料金プランの料金水準は近接している状況（固定通信とのセット割引および特定決済方法割引を考慮）
- 低容量帯に加え、MNO各社が実質値下げを実施している大容量帯においても近接度合いが高く、下回る場合も出てきている状況

<低容量帯の比較>（全プラン、国内通話定額は別オプションのため、月額料金のみで比較）

（いずれも音声機能付き、税込）

プラン	UQmobile	Y!mobile	ドコモmini	povo2.0	LINEMO	MVNO1	MVNO2	MVNO3	
	5GB	5GB	4GB	5GB	3GB（※5）	5GB	5GB	5GB	
月額料金	¥2,948	¥3,058	¥2,750	¥1,100（※3）	¥990	¥950	¥1,518	¥1,298	
	割引適用時 ¥1,628（※4）	割引適用時 ¥858（※4）	割引適用時 ¥990（※4）						
通信品質	メインブランドと同等					MVNOのMNOとの契約帯域に依存			

<大容量帯の比較>（ahamo、UQmobileは無料の国内通話定額が含まれるため、国内通話定額を合算した月額料金にて比較）

（いずれも音声機能付き、税込）

プラン	UQmobile	Y!mobile	ahamo	povo2.0	LINEMO	MVNO1	MVNO2	MVNO3	ahamo	MVNO3
	30GB	30GB	30GB（※5）	30GB	30GB	35GB	20GB	30GB	110GB	100GB
月額料金	¥4,048	¥4,158	¥2,970	¥2,200（※3）	¥2,970	¥2,400	¥2,178	¥2,508	¥4,950	¥6,358
国内通話定額	¥880（※1）	¥880（※1）	¥0（※2）	¥550（※2）	¥0（※2）	¥700（※1）	¥550（※1）	¥935（※1）	¥0（※2）	¥550（※2）
月額料金	¥4,928	¥5,038	¥2,970	¥2,750	¥2,970	¥3,100	¥2,728	¥3,443	¥4,950	¥6,908
	割引適用時 ¥3,608（※4）	割引適用時 ¥2,838（※4）								
通信品質	メインブランドと同等					MVNOのMNOとの契約帯域に依存			メインブランドと同等	契約帯域に依存

（※1）10分以内の国内通話は何度かけても定額

（※3）365日間有効のトッピング料金を、1か月間あたりに換算

（※5）過去に検証したプラン

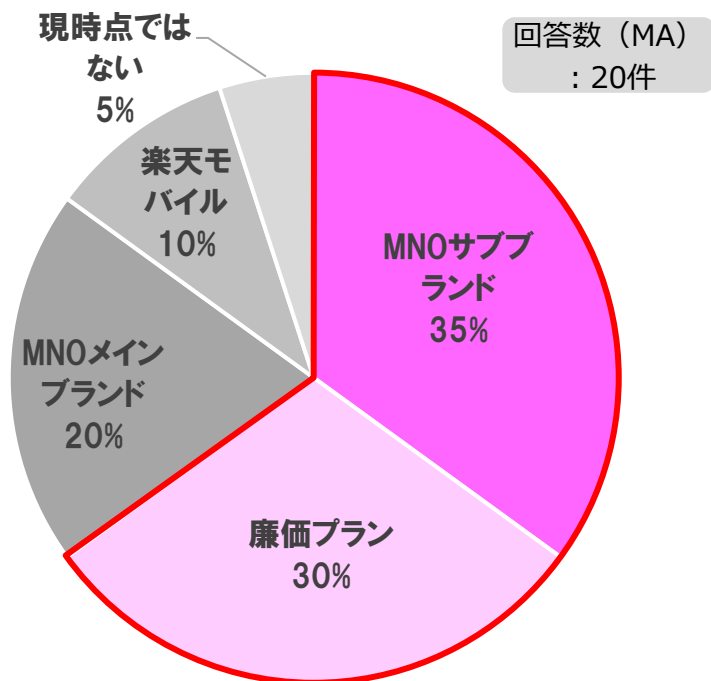
（※2）5分以内の国内通話は何度かけても定額

（※4）モバイルサービスの月額料金に適用される固定セット割引額かつ特定決済方法割引額を反映

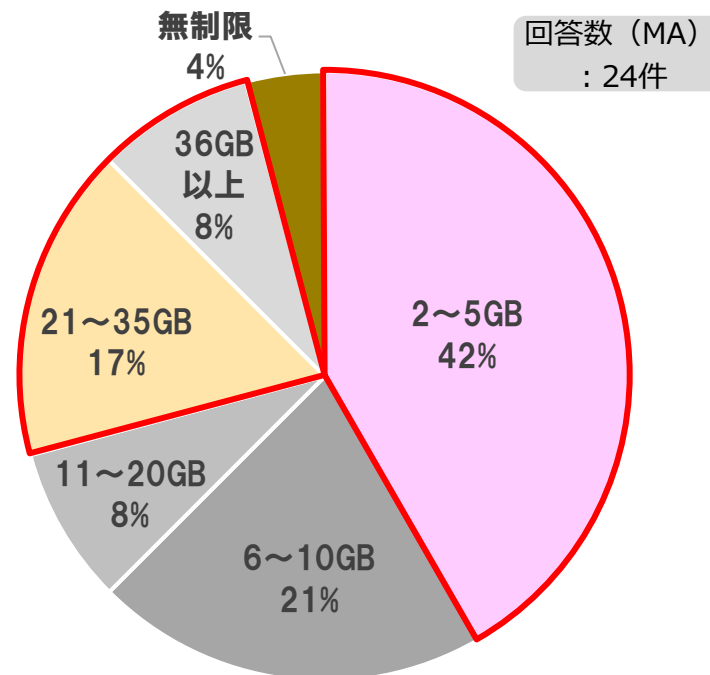
MVNO各社へのアンケート結果(競合するサービス・プラン、容量帯)

- 当委員会に加盟しているMVNOに対し、競合するサービス等についてアンケート (回答: 10社 期間: 2025/10/24~11/14)
- MVNO自社プランからの移行・転出が多い等の理由から競合となっている主なMNOのサービス・プランは、前回に続き、サブブランドと廉価プランが全体の65%を占める結果
- 競合する月当たりの容量帯は、2~5GB帯が42%、21~35GB・36GB以上帯が25%を占める結果

競合するMNOのサービス・ブランド

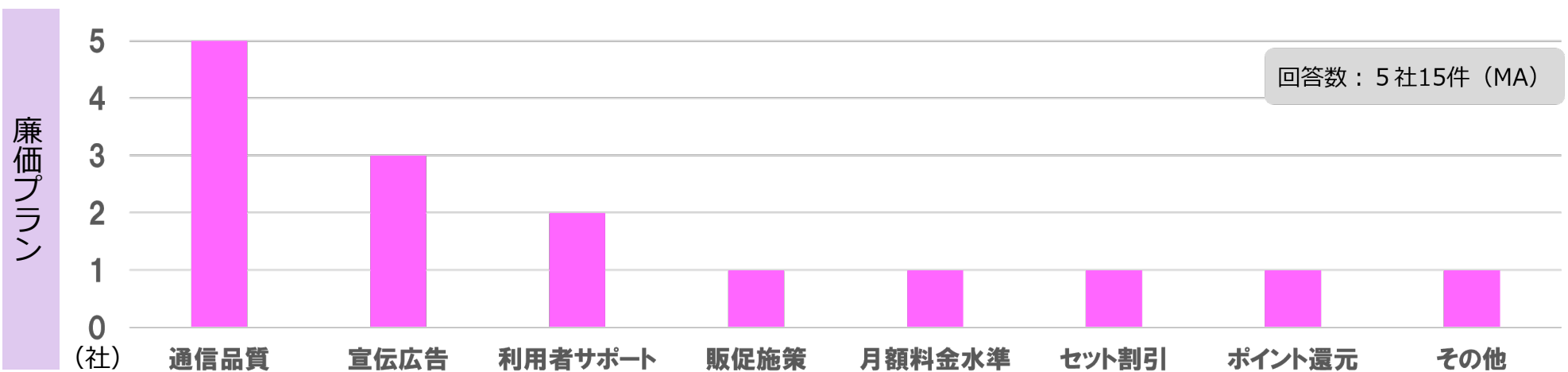
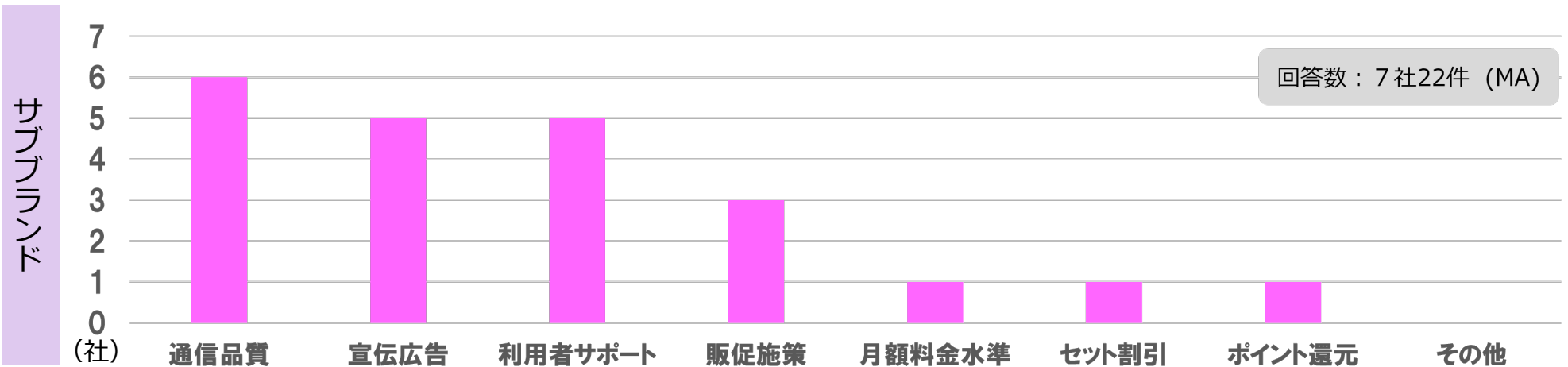


競合するサービス・ブランドの月当たりの容量帯



MVNO各社へのアンケート結果(同等のサービス提供が困難な理由)

- MVNOがサブブランドや廉価プランと同等のサービス水準で提供できないと考える主な理由については、前回は引き続き**通信品質と宣伝広告を挙げる割合が特に大きい**
- また、**サブブランドでは利用者サポートや販促施策を挙げる割合も大きい**



MVNO各社へのアンケート結果(スタックテスト実施に伴う要望等)

- その他、MVNO各社からの要望や意見は下記の通り（各社意見より抜粋）

	意見要旨
検証対象の選定	<p>✓ MNOがMVNOへ<u>同等プランの卸提供がなく、MVNOより月額料金の安いMNOプランが存在し、MVNOにとって競争上の脅威となっている</u>ことから、<u>モバイルスタックテストの実施が必要</u>だと考える。現在のMVNOに対する接続料・卸価格の水準では、<u>月額基本料0円の提供は難しく、競争対抗できる価格設定とすることも難しい。</u></p>
検証方法	<p>✓ MNO廉価プラン等（特に中～大容量プラン、無料通話オプション）を対象に、<u>MVNO向け接続料（データ・音声）を原価として差し引いた場合の採算性を徹底的に検証</u>いただきたい。</p> <p>✓ <u>セット割適用サービスについて、FTTHアクセスサービス、ワイヤレス固定ブロードバンドアクセスサービス（共用型）、モバイルルーターサービス及びケーブルテレビサービスが対象となっているところ、NTNサービスとのセット割引も開始されていることから、同様にセット割引適用対象として検証</u>いただきたい。</p> <p>✓ MNOに対し、廉価プラン等が<u>内部補助によって不当に維持されていないことの会計的な説明</u>を求めたい。</p>
その他	<p>✓ <u>5GSAの機能開放においてはMVNOでも通信品質を確保することが重要</u>であり、<u>従来のピーク時基準の帯域課金では、ピークと非ピークの差拡大による費用対効果の低下が懸念</u>される。帯域設定の柔軟化を事業者協議で進めるべきだと整理されているが、<u>MNOが従量課金の選択肢を用意するなど議論を深める必要</u>がある。</p> <p>✓ データ接続料は今後上昇・横ばいに転じる見通しが出されており、過去に<u>検証済みのプランについても、データ接続料の単価が上昇した場合には再検証</u>をいただきたい。</p>

一般社団法人テレコムサービス協会



- (株) アーリンク
- (株) アイ・オー・データ機器
- (株) 朝日ネット
- イオンリテール (株)
- (株) インターネットイニシアティブ
- (株) インテック
- H.I.S.Mobile (株)
- (株) STNet
- エックスモバイル (株)
- NTTコミュニケーションズ (株)
- (株) NTTデータ
- (株) NTTドコモ
- (株) NTTPCコミュニケーションズ
- (株) 愛媛CATV
- MXモバイル (株)
- (株) オプテージ
- 兼松コミュニケーションズ (株)
- (株) カブ&ピース
- (株) QTnet
- 近鉄ケーブルネットワーク (株)
- (株) コスモネット
- (株) コミュニティネットワークセンター
- (株) サジスタム
- GMOインターネット (株)
- (株) シー・ティー・ワイ
- JCOM (株)
- (株) Jストリーム
- (株) 情報通信総合研究所
- スターネット (株)
- スマートモバイルコミュニケーションズ (株)
- (一社) 全国事業協会
- (株) センターモバイル
- ソニーネットワークコミュニケーションズ (株)
- SORAシム (株)
- (株) TAM
- だれでもモバイル (株)
- TIS (株)
- (株) 地域ワイヤレスジャパン
- (株) ちゅピCOM
- DXHUB (株)
- (株) TOKAIコミュニケーションズ
- トランスコスモス (株)
- (株) ドリーム・トレイン・インターネット
- ニフティ (株)
- (一社) 日本ケーブルテレビ連盟
- 日本通信 (株)
- ニュー・アイティー・ヴェンチャー (株)
- (株) ハイホー
- (株) 日立システムズ
- ビッグロブ (株)
- 富士通 (株)
- 華為技術日本 (ファーウェイ・ジャパン)
- (株) フォーバルテレコム
- フリービット (株)
- ミーク (株)
- (株) メルカリ
- (株) モバイルアーツ
- (株) U-NEXT
- LINEヤフー (株)
- 楽天モバイル (株)
- (株) ラネット
- (株) LinkLife
- (株) レキオス
- Y.U-mobile (株)